

Agilent DNAマイクロアレイスキャナ

Agilent's Microarray Scanner

高感度、高精度 次世代DNAマイクロアレイ対応 !!

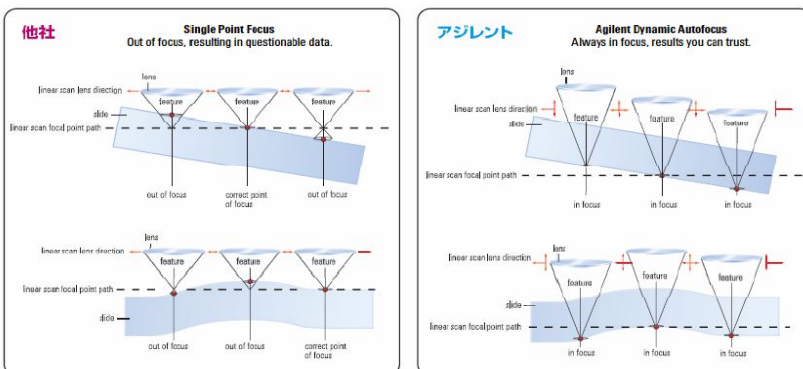


特長

- ダイナミックオートフォーカシング
- 高感度
- 広いダイナミックレンジ
- 自動高速スキャン
- 高速全自動データ処理、QCレポート

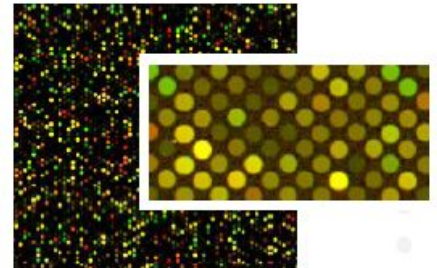
ダイナミックオートフォーカシング

スライドガラス表面には、小さなゆがみやたわみがあります。これが共焦点レーザー蛍光式スキャナでは、アレイ全体を均一に読み取ることが出来ない原因です。アジレントは、これを解決するためにピクセル毎に焦点を調整するダイナミックオートフォーカシング機構を開発しました。アジレントのマイクロアレイスキャナは1ミリ秒以下で焦点を再調整しています。



高感度

蛍光検出の感度は、励起光強度に依存します。アジレントは高感度検出を達成するために20mWの高輝度レーザーを採用しました。また、全自動でバックグラウンド補正、色素補正のデータ処理を行い、信頼性の高いデータが得られます。



広いダイナミックレンジ

20ビットのA/Dコンバーターの採用により、業界最大のダイナミックレンジを実現。(G2565CAのみ)

自動高速スキャン

プレスキャンは不要です。1色スキャンまたは2色同時スキャンの設定も出来ます。また、オートローダーも装備されており、スライドガラスをセットすれば、最高48枚のスライドガラスも自動でスキャンします。



最高48枚のスライドガラスを搭載可能なオートローダー

Agilent DNAマイクロアレイスキャナ

高速全自動データ処理、QCレポート

・高速全自動データ処理

—スポットの位置検出からバックグラウンド補正、色素補正、p値の算出、異常スポットの検出まですべての処理を自動で行います。
バッチ解析も可能です。

・独自のアルゴリズム

—クッキーカッターと呼ばれる独自のアルゴリズムで、スポット範囲、バックグラウンド範囲を決定して、数値化、データ処理を行います。



スポット及びバックグラウンドの検出
(クッキーカッター)

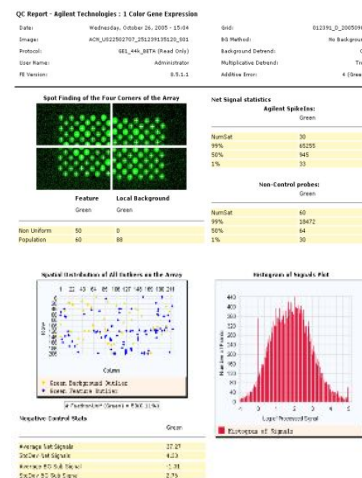
・1色法/2色法対応

—数値化のための最適化されたパラメーターが準備されています。

・QCレポート

—マイクロアレイの実験プロセス(ラベル化、ハイブリダイゼーション)の評価を行います。

* QCレポート機能を使用するには、アジレント社のDNAマイクロアレイ及びRNA Spike In Kit試薬が必要です。



QCレポート出力例

DNAマイクロアレイスキャナ		
型式	G2565CA	G2565CA#003
対応色素	Cyanine3, Cyanine5, Alexa555, 647, 660dyes	同左
検出感度	0.05 chromophores per square micron (cpsm)	同左
励起光及び強度	532nm(SHG-YAGレーザー—20mW) 633nm(HeNeレーザー—23mW) * 強度調整機能付き	同左
分解能	2、3、5、10µm	5、10µm
ダイナミックレンジ	10 ⁴ (16bit)、10 ⁵ (20bit)、 10 ⁶ (XDR:eXtended Dynamic Range scanning) * 条件変更可能	10 ⁴ (16bit) 10 ⁶ (XDR) * 条件変更可能
スキャン範囲	21.6 × 71mm	同左
スライドガラス	1 × 3インチ(25 × 75mm)対応 ミラーガラス対応不可	同左
本体サイズ	H21.5 × W35.5 × D25 インチ (H55 × W90 × D63.5cm)	同左
本体重量	約98Kg	同左
電源	100VAC ± 10%、50/60Hz、5A	同左

* G2565CA#003よりG2565CA(高分解能仕様)にアップグレード可能です。
* 仕様は予告なく変更する場合があります。

アジレント・テクノロジー株式会社

本社/〒192-8510 東京都八王子市高倉町9-1
●カスタマコンタクトセンター TEL0120-477-1111
<http://www.chem-agilent.com/>

本書の一部または全部を書面による事前の許可なしに複製、改変、翻訳することは、著作権法で認められている場合を除き、法律で禁止されています。

